

平成24年2月13日

各 位

上場会社名 戸田建設株式会社  
代表者 代表取締役社長 井上 舜三  
(コード番号 1860 東証・大証各第一部)  
問合せ先責任者 執行役員総務部長 大友 敏弘  
(TEL 03 - 3535 - 1357)

## 販売用不動産評価損等の損失計上および繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ

当社は、平成24年3月期決算において、下記の通り損失計上等を行う見込みとなりましたので、お知らせいたします。

### 1. 工事損失引当金の計上について

熾烈な受注競争の結果、当社の主力事業である建設事業において、受注時採算の悪化が進行する一方、労務事情等の悪化の影響で、以前ほどの原価の回復力が見られなくなりました。

このような現実に対処するため、積算手法の見直しを行うと共に、手持ち工事の採算性を見直しを行い、期末までに発生すると見込まれる損失約35億円を工事損失引当金に積み増し、来期以降の工事利益に与える要因を一掃することとしました。今後、受注時利益を確保すべく選別受注を徹底し、主力事業の採算性の向上を図ります。

### 2. 販売用不動産評価損の計上について

今期、不動産事業部を新設し、保有不動産の一元管理による効率的活用を図り、収益性の向上を目指すこととしました。当社の不動産事業が抱える最大の課題は、長期に保有する不動産を流動化し、投資効率を高めることとあります。とりわけ大規模宅地については、抜本的な対応が必要と判断しました。

そのため、早期売却を前提とした売却可能額の算定に取り組み、結果として大規模宅地を中心に販売用不動産の評価損約73億円(不動産事業原価)の計上を見込みました。今後、長期保有不動産を早期に売却し、その資金を新規投資に振り向け、安定した収益の確保を図ってまいります。

### 3. 投資有価証券評価損の計上について

平成24年3月期第3四半期において、投資有価証券評価損を約33億円計上しておりますが、このうち約27億円は当社が出資する不動産事業に係る優先出資証券の一部の資産価値が著しく下落したことから評価損を計上したものです。平成24年3月期通期におきましては、その他の投資有価証券の評価損とあわせ合計約40億円の投資有価証券評価損の計上を見込んでおります。

### 4. 税制改正に伴う繰延税金資産の取崩しについて

税制改正により、法人税率等が変更された為、繰延税金資産の取り崩しが必要となりました。繰延税金資産の取り崩し額の算定にあたっては、厳しい経営環境を反映して、より保守的な回収可能性の判断を加え、約52億円の繰延税金資産の取崩しを行うこととしました。

### 5. 今後の見通し

通期業績予想への影響額につきましては、本日公表の「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

以 上